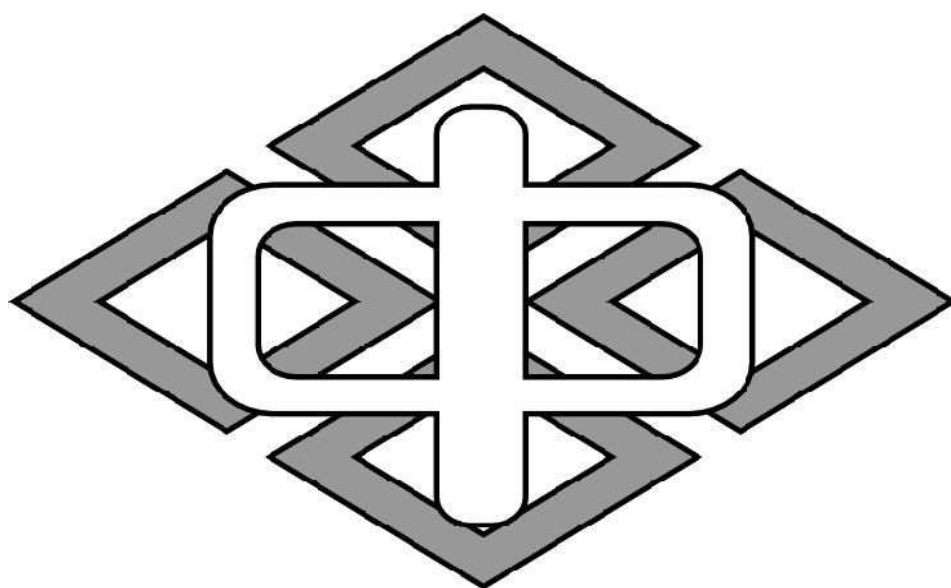


平成28年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



海老名市立海老名中学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

○文章中における情報を整理する力が秀でています。説明的文章においては、事実と作者の考えをしっかりと分類し、作者の論理をしっかりと把握することができます。

○「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」など、敬語の種類と用いる場面を理解し、適切な語句を使用することができます。

### 《努力を要する所》

○文脈に即して適切な漢字を用いる力に課題が見られます。特に「書き」に関しては、漢字の意味を理解せずに、暗記的に覚えてしまっている生徒もいます。

○辞書の活用という部分において、課題が見られます。上記と重複しますが、漢字のもつ本来の意味を理解する力が、より努力を必要とするものとして考えられます。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

○伝えたいことの根拠を明確にする力が身についています。「はなすこと」の設問においても高い正答率を示しました。スピーチやプレゼンテーションなど、系統立てて取り組んできた学習が成果として表れています。

### 《努力を要する所》

○目的に応じて、文章を要約する力に課題が残っています。収集した情報を、精査して活用する力が求められます。

○文学的文章における、内容の把握において課題が見られます。文中の登場人物の行動や場面の情景描写から、文章に書かれていない部分に関して読み取る力も育みます。

## これまでの取組から

○学習中における発表や意見交換など、言語活動の充実を図った学習が、少しずつ実を結んでいます。自分の意見を述べる点に関して、根拠を明確にし、筋道のたった理論を展開できる力を身につけました。

## 今後の具体的な取組について

○言語についての知識・理解・技能の設問において、少なからずの課題が見られました。ただ暗記的に指導するのではなく、語句の本来持っている意味などを学び、より効果的に用いることができるよう、今後も指導に当たっていきます。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 正の数・負の数、文字式、方程式などの問題において、計算の決まりに従って、正確に解く力が身についています。
- 2つの数量の関係が1次関数の関係にあることを理解し、それが比例なのか1次関数なのか判断し、グラフや表から式を求めることができます。

### 《努力を要する所》

- 1年次の既習内容において、特に反比例、近似値の設問の正答率が低いです。具体的な事象における2つの数量の関係が反比例の関係になることを理解することや、反比例のグラフから式を求めることなどの復習が必要です。また、近似値と誤差の意味を理解することが必要です。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することや、的確に処理することができます。
- 表やグラフを基に事象を考察する場面では、資料を的確に捉え、自分の考えを数学的な表現を用いて説明することができます。

### 《努力を要する所》

- 記述式の設問において、文字式を用いて手順を踏んで説明することに課題があります。「文字式による説明」を振り返り、筋道を立てて自分の考えを述べられることが必要です。

### これまでの取組から

- 問題の答えを導く過程を大事にし、なぜそうなるのかの根拠や用いた定理・条件などを説明する力を養えるように指導を行っています。そのため、記述式の設問に対して全国平均より正答率が高く、無回答率が少ない結果につながっていると考えます。

### 今後の具体的な取組について

- 授業において、数学的な表現を用いて説明する場面を設け、課題解決の方法を説明する活動を充実させます。
- 1、2年次の既習内容において、反復学習により基礎的・基本的な知識を定着させ、学力向上を図ります。



# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

○1・2年生の時に受けた授業や道徳で話し合う活動をよく行っています。課題に対し自ら考え、情報収集を行い、自分の考えがうまく伝わるよう、文章の組み立てなどを工夫して発表していたようです。そのため自分の考えを深めたり、広げることができたと感じている生徒が多かったです。

○「国語の勉強は好きで、授業内容はよく分かる」と答えています。国語では意見などうまく伝わるように話の組み立てを工夫していると答えた生徒が多かったです。

### 《課題と思われる所》

○授業で分からないことは、先生に聞かず、友だちに尋ねる生徒が多く見られました。先生に質問ができるよう取り組んでみましょう。

○数学ができるようになりたいと思う生徒は91.3%と多いのですが、数学が将来役に立つと考える生徒が全国より7.5ポイント少ないです。授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか、公式やきまりを習うときその根拠を

考えるようにしているなど全国より高い取り組みをしているので、そういう力をつけることが将来に役立つと考えてみましょう。



## 生活について

### 《よかった所》

○物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると答えた生徒は93.8%が高かったです。失敗を恐れなくて挑戦する生徒が、県と全国をはじめて上回りました。

○「自分にはよいところがある」5.2ポイント「自分の考えをや意見を発表するのは得意」11.3ポイント全国を上回りました。。

○学校が楽しいと思う生徒が多く、85%の生徒が好きな授業があると答えています。

○学級では話し合いによりきまりを決め、意見を出し合い、互いの意見を認め合っているようです。学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことは92.6%と全国を8ポイント大きく上回っています。

### 《課題と思われる所》

○「自分の夢や目標を持っていますか」の項目は、全国より低かったです。いろいろな力がついているので、自信を持って、夢を描いて欲しいです。

○地域のボランティア活動に参加している生徒、新聞を読んでいる生徒、読書が好きな生徒は、全国よりも低い値でした。

○家の手伝いをするは、全国より10ポイント低かったです。平日1時間以上、インターネットを行う生徒は全国より多いです。

## 今後の具体的な取組

○授業の最初に学習目標を明確に伝え、目的意識を持った授業参加と、授業の最後に学習内容の振り返りができるように指導していきます。

○言語活動の充実を図るため、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を通して、発言する機会や友だちの話を聞いて考える活動を、多く取り入れていきます。

○学校生活全体を通して、互いを認め合い、尊重できる人間関係を構築し、ひとり一人の生徒を、大切に作る指導を心がけていきます。



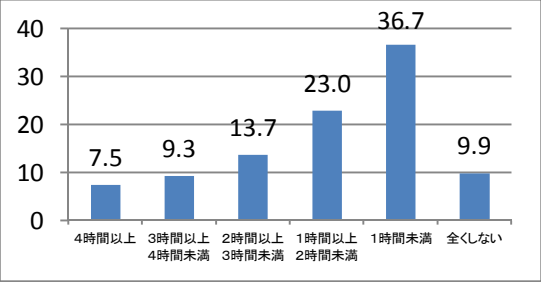
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 メールやインターネットの使用時間を決めましょう

夜の遅い時間でのメールやLINEは、相手方にも迷惑です。時間を気にしましょう。

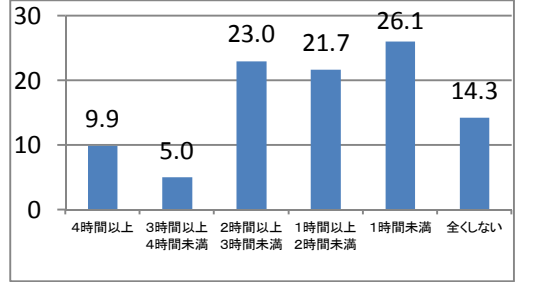
普段一日どれくらいの時間メールやインターネットをしますか



## 2 TVやスマホでのゲームのやりすぎに注意しましょう

スマホでのゲームが人気ようです。夢中になりすぎて時間を無駄にしないでください。

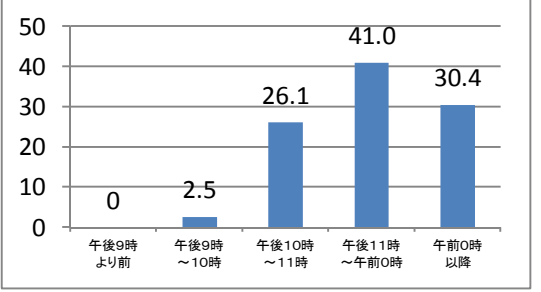
普段一日どれくらいの時間ゲームをしますか



## 3 睡眠時間は十分にとりましょう

メール、LINE、ゲームで睡眠時間が短くなっていませんか。規則正しい生活が大切です。

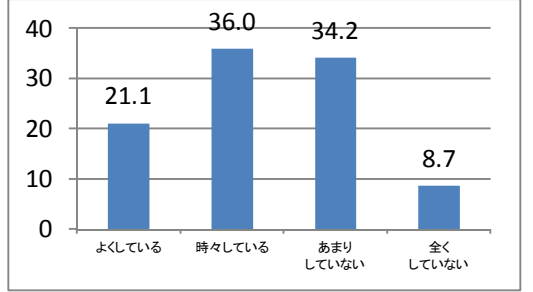
普段、何時頃に寝ますか



## 4 家の手伝いをしましょう

簡単なことでもかまいません。手伝いを意欲的に行い、家族で助け合いましょう。

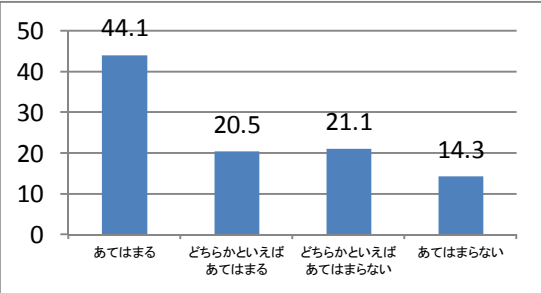
家の手伝いをしていますか



## 5 将来の夢や希望を大切にしましょう

将来の夢を持つことにより、日々の生活に活力が湧いてきます。

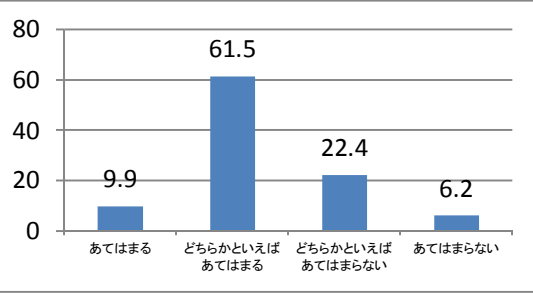
将来の夢や目標を持っていますか



## 6 積極的にいろいろなことにチャレンジしましょう

失敗と反省を繰り返して成長していきます。失敗を恐れて何もしないと成長しません。

失敗を恐れなくて挑戦していますか





平成28年11月